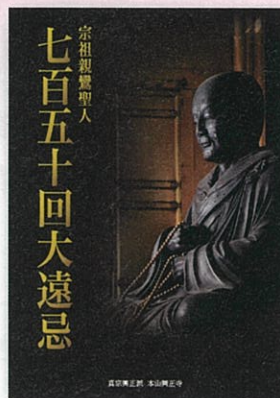


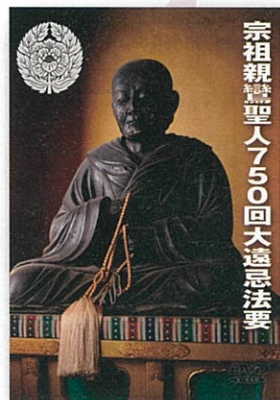
# 本山だより



第43号(平成25年3月)



宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要  
**記念写真集**  
一冊 二、五〇〇円(税込)  
全 六四頁



宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要  
**記念DVD**  
一枚 二、五〇〇円(税込)  
全編五七分(特典映像付)

記念写真集+記念DVD、合わせて5,000円のところ

セット販売価格 **4,000円**(税込)

真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル  
TEL075-371-0075(代)・FAX075-371-8509

<http://www.koshoji.or.jp>

## 春の法要のご案内 ～親鸞聖人御誕生会～

平成25年4月9日(火)  
10日(水)  
11日(木)

午前10時 朝座のお勤め  
午前10時40分 御堂法話

午後2時 昼座のお勤め  
午後2時40分 御堂法話

御堂法話

布教使 吉阪史孝氏(奈良県・徳善寺)

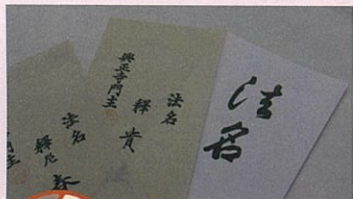


ちょっと  
豆知識

## ～法名と戒名～

法名は亡くなった人につける名前じゃなくて仏弟子としての名前。通常「釈〇〇」「釈尼〇〇」という釈から続く二文字なんだ。この「釈」はお釈迦さまの「釈」の字、つまりお釈迦さまの弟子、仏弟子とならせていただいたという証なんだよ。

ちなみに浄土真宗では戒名とは言わないんだ。それは浄土真宗が戒律を守りながら生活することのできない凡夫のための教えだからなんだよ。



## 帰敬式の ススメ

明日ありと思ふ心の仇桜  
夜半に嵐の吹かぬものは

親鸞聖人は9歳の時に青蓮院にて得度を受けました。日も暮れてきていましたが決意の変わらぬうちに夜間に得度式をうけました。帰敬式は僧侶になる式ではありませんが、仏弟子とならせていただくという意味では同じ。親鸞聖人の事績にちなみ興正寺では堂内を真っ暗にして帰敬式をとりおこないます。帰敬式を受けると仏弟子としての名前、法名が授けられます。

宗祖親鸞聖人は、世の中が混乱を極めていた平安時代末期の承安3(1173)年、旧暦4月1日に、京都の南にある、日野の地でご誕生になり、御年9歳で東山青蓮院にて出家得度、その後比叡山にのぼり学問・修行に励まれました。

やがて聖人は29歳で比叡山を下りられ、法然上人との出遇いを通して、念仏の「み教え」に帰依されました。

その生涯は念仏停止による流罪と僧籍剥奪、師である法然上人との別れ、長男善鸞の勘当など多

## 心にはんなり春風 興正寺春の法要

くの困難と悲しみにあふれたものでした。

しかし、親鸞聖人は人間として生まれてきて、多くの困難や悲しみがあろうとも、本当のしあわせに気づける道に、遇いがたくして遇えたことを心の底から慶ばれました。

本山興正寺「春の法要」は、お念仏の道を歩ませてもらっている私たちが、宗祖親鸞聖人の誕生された日を縁として本山に集い、あらためて阿弥陀如来の願いを聞かせていただく大切な法要でございます。

チョット

## ひとくち法話



「人間には一度生まれの人と、二度生まれの人がいる」

これはアメリカの心理学者ウィリアム・ジェームズ(1892～1910)の言葉です。彼によると、両親から生命を受けた時を一度目の誕生というならば、新たな人生を生きていこうと決意した時を“二度生まれ”といい、二度目の誕生と呼ぶことができるそうなのです。

親鸞聖人は幼くして両親と死別、九歳で得度され、比叡山で救いを求めて二十年間学行に励まれました。しかし、いくら学行を修めても、煩惱の火が消えることはありませんでした。苦しみ悩み続けておられたその時、法然上人より「ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべし」というお言葉を聞き、そしてそれを実践されていたお姿に感動され、“二度生まれ”されたのです。行き先も分からないまま、暗闇の中を不安な心で歩かれておられた、まさにその時、法然上人というよき人を得、阿弥陀さまという心の闇を照らす光明に出遇われたのです。苦しみや不安の闇が深かっただけに、その慶びや安心はとてつもなく大きなものであったことでしょう。

混迷の現代に生きる私たちにとっても、親鸞聖人という素晴らしい先達がいて下さることは、この上もなく頼もしく、有り難いことでもあります。この貴いご縁を慶び、聖人が生涯をかけて今に伝えて下さったみ教えを聞かせていただき、感動ある人生を歩みたいものです。

合掌

布教使 吉阪史孝